



学びの庭

甲府市立甲運小学校
学校だより第10号
平成29年1月30日
(文責：勝村 正樹)



今年度のまとめの時期を迎えました



平成29年の新しい年を迎えてから、早いもので1か月が経過しようとしています。今年度の学校での教育活動も大詰めを迎えました。これからまだ寒い日が続きますが、子どもたちとともに頑張っていきたいと思います。保護者の皆様には、これまで以上に私ども職員と甲運小を支えていただければ幸いです。ご協力よろしくお願いたします。

甲府市消防団甲運分団勇ましく 厳かに出初め式挙行



1月8日の午後に甲府市消防団甲運分団の出初め式が行われました。私は出初め式に出席させていただくのは初めてのことでしたので、緊張して式に臨みました。甲運地区自治会連合会会長の佐藤一男様から日頃甲運地区の安全・安心のために活動している消防団員の方々に対して労いのお言葉がありました。手を後ろに回し直立不動で話を聞く団員の皆さんの姿勢には感心することしきりでした。表彰を受けられた団員の中には本校保護者の方もいらっしゃって、心強く思いました。この式に参加させていただき、改めて甲運地区を守ってくださっている方のご苦勞に思いを寄せるとともに、学校でも防災教育に力を入れていかなければと強く思いました。



スポ少野球部のみなさん、 ありがとうございました

1月8日に甲府市内でも雪が積りました。1月9日の午前中に私のところに久保川教頭から電話がありました。「正門付近の駐車場からガードレール下にかけて野球部の子どもたちと保護者の方が雪かきをしてくださった」というのです。感謝の気持ちでいっぱいになりました。ほんとうにありがとうございました。



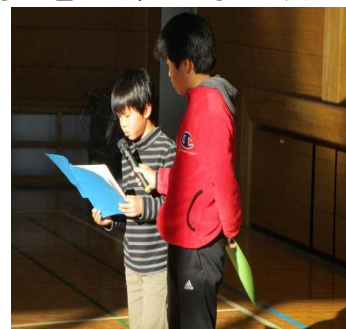
心晴れやかに3学期スタート 静かな雰囲気の中で始業式進む



1月10日に3学期が始まりました。静かに体育館に入場してくる子どもたちの顔には、新年にかける意気込みが感じられました。私は、子どもたちに「3つのC」を大切にしてほしいと呼びかけました。「一つ目のCは、chance, 二つ目のCは、challenge, 三つ目のCは、changeです。3学期も先生やお家の人たちがみなさんにいろいろなチャンスを与えてくれます。たとえば発言のチャンスであるとかお手伝いのチャンスです。そのチャンスを逃さず、いろいろなことに挑戦して、自分をさらに変えていってほしい。」と結びました。

そして、3年生の井上雄登さんと6年生の渡辺諒太郎さんから新しい年を迎えての力強い意見発表がありました。

1月は行く、2月は逃げる、3月は去ると言われるように、3学期は時間の流れがいつもより早くなります。一人一人の子どもたちが健やかに成長できるよう、ゆとりを持ちながら見守っていききたいと思っています。



書きぞめ大会実施

子どもたちが集中して取り組みました

1月11日に教育祭書きぞめ大会を実施しました。子どもたちの集中して取り組む姿を見て、私がデジタルカメラを向けて気を散らしては申し分ないように思いました。そこで窓越しに見回していると、それぞれ思い思いに、字形や筆圧を考えながら書いていることがよく分かりました。

書写では、「手本」を真似るのではなく、「考えながら書く」ことが大切です。この書きぞめの取り組みが、その契機になればと思います。

書き終えた後、子どもたちの作品を見せてもらいました。どれも力作で、気持ちがかもったものに仕上がっていました。各学級ごとに掲示されています。ぜひご覧ください。



もうすぐ入学 保幼小連携 園児が1年生の授業に参加しました

1月12日に保育園の子どもたちが1年生の国語科の授業に参加しました。みんなよい姿勢で学習の様子を見つめています。先生の質問に対して1年生が手を挙げると、身を乗り出すようにその答えに聞き入っていました。1年生と同じように園児にも先生が優しく質問の言葉を向けると、嬉しそうに答えていました。



いよいよ入学間近となった園児たちにとって、貴重な時間となったことでしょう。入学してからのがんばりを楽しみに待ちたいと思います。

進学に向けてレッツゴー 東中1年生が小学校訪問

1月27日、本校出身の東中学校1年生による学校訪問がありました。学習の仕方や部活の内容など分かりやすく6年生に教えてくれました。また、学園祭で披露したという劇の台詞の紹介もあり、6年の子どもたちはみな興味津々でした。

その後、「東中の1年は何クラスあるか」などの3択クイズやビデオによる学校紹介もあり、有意義な時間となりました。この活動により、6年生の卒業に向けての気持ちが高まってきたにちがいないと思います。



学級の仲間を支えていこう

3学期の学級役員に認証状を渡しました

1月17日、3学期の学級役員に認証状を渡しました。認証状を受け取る新役員の子どもの目は輝いていました。3学期は短い期間ですが、精一杯クラスのために努力してほしいと願っています。

【認証式で私が話したこと】多摩動物園にアヌーラという元気な象がいました。でもある日、病気にかかってしまします。それでも必死に立っています。体重の重い象は一度横になってしまうと、起き上がることができなくなってしまうからです。ところが、そのそばにいた2頭の象が不思議な行動に出ます。1頭がアヌーラの右側に寄り添い、もう1頭が右側に立って支えたのです。この行動は1か月間続きました。動物には仲間を助けようとする本能があるのでしょう。この大事な気持ちは私たち人間も持っています。でも時々この気持ちを忘れてしまうことがあるのです。仲間を助ける気持ちを忘れず、学級役員をしっかり支えていってほしいと思います。

インフルエンザ予防法「あいうべ体操」

今、話題に

呼吸をするときは、無意識に口呼吸を行っています。これはかぜのウイルスが体内に入りやすいために、鼻呼吸をすることが効果的です。鼻呼吸は、ウイルスをブロックする作用がありますので、健康のためにもとても効果があるそうです。

あいうべ体操のやり方



「あ」「い」「う」「べ」とそれぞれ口を大きくあけて声を出します。これをセットとして1日に30回行ってください。簡単そうですが、真剣にやるとかなり疲れる運動です。

一度に30セットをこなすのは大変ですから、一日に何度かわけて行うとよいとのこと。繰り返すことで、口呼吸の習慣を鼻呼吸に変える作用があります。

児童会役員選挙行われる

立候補者が熱く公約を語りました

1月26日に児童会役員選挙が行われました。投票に先立って立ち会い演説会が開かれ、各候補者と責任者の熱い演説が体育館に響きました。演説を聞くフロアの子どもの眼差しも真剣そのものでした。それを象徴するかのように無効票や白票もほぼ0に近い結果でした。選挙管理委員の子どもたちや候補者を支えた学級の応援がこの選挙を大きく後押ししたと思います。



来年度の児童会活動がさらに活発に展開されることを大いに期待しています。

心がほっとスマイル 鍵にまつわるエトセトラ

・毎日、5年生の2人の子どもが体育館の鍵を持ち、職員室にやって来ます。出て行くとき決まって校長室に目をやり、笑顔で「校長先生、さようなら」と言うのです。私は温かな気持ちになって、「いつも声をかけてくれてありがとう」と言うと、「でも、今週で体育館の掃除も終わりになってしまいます。」と少し残念そうに職員室を出ていきました。

・ある日、別の鍵を借りにきた子どもたちが、「すてきな鍵だな」と言って注目したのが、体育館のピアノの鍵です。確かに他の鍵とは少し形状が違って見えます。宝箱を開ける鍵にも似ています。「お宝さくさくだね。」と私が言うと、その言い方がおもしろかったのかにこにこしていました。



